

発議第4号

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和2年5月15日提出

つくばみらい市議会議長 伊藤 正実 様

提出者 つくばみらい市議会議員 鐘ヶ江 礼生奈

賛成者 つくばみらい市議会議員 中山 栄一

賛成者 つくばみらい市議会議員 今川 英明

提案理由

全国各地で、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。この未曾有の危機に当たり、医療の最前線で昼夜を問わず戦っている医療従事者及びその関係者、市民の生命及び財産を守り、生活を支えるために日々奮闘する関係者及び市職員に対し、心より感謝を申し上げます。

つくばみらい市では、4月7日より国の緊急事態宣言が発令されたことにより、地域経済が急激に冷え込んでおり、事業者等においては、厳しい状況が続いています。市民生活においても、外出自粛要請により、教育、福祉、消費経済等、様々な弊害が生じています。1日も早い新型コロナウイルスの収束を祈念するとともに、現状において、市民生活を守るために、本決議を提案するものです。

新型コロナウイルス感染症対策に関する決議

中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症は、急速な勢いで世界各地に拡大を続け、国際的な脅威となっている。

日本国内においても、政府はこれまで感染拡大防止に向けた対策を講じてきたものの、感染経路が明らかでない患者が散発的に発生するなど、事態は刻々と変化しており、まだまだ予断を許さない状況にある。また、市民の間にはウイルス感染への不安はもとより、中小企業、個人事業主を中心とした急激な景気後退に対する不安も広がっている。

そうした中、政府においては様々な経済対策を進めているが、市民の安全・安心を確保するとともに、市民への影響を最小限に抑えるため、下記事項のとおり、迅速に実施されるよう強く求めるものである。

また、市議会としても、市と連携・協力し、感染防止対策及び経済対策に全力を挙げて取り組む決意である。

記

- 1 市内事業者及び各家庭には、様々な経済的影響が出ているため、今般、プレミアム付商品券の発行が示されたが、更に、市独自の支援体制、例えば飲食店業者に対するクーポン券制度などを早急に検討されたい。また、国・県の支援策の対象になっていない業界・事業者へも併せて検討されたい。
- 2 医療崩壊を防ぐため、医療従事者への手厚い支援を図られたい。
- 3 DVや虐待・自殺などの防止対策に向けて、生活困窮者等への支援策を強化、及び相談窓口等を設置し、市民の不安を払拭する迅速な対応をお願いしたい。
- 4 各小中学校において、ICTの活用などあらゆる可能性を検討し、児童生徒間における学力低下、また学力格差の防止、心身の健康を留意し、受験生については、その後の進路について十分な配慮をされたい。
- 5 今後、開催が予定されているイベント等について、早めに方向性を示し主催者等の不安を払拭すること。

以上、決議する。

令和2年5月15日

つくばみらい市議会